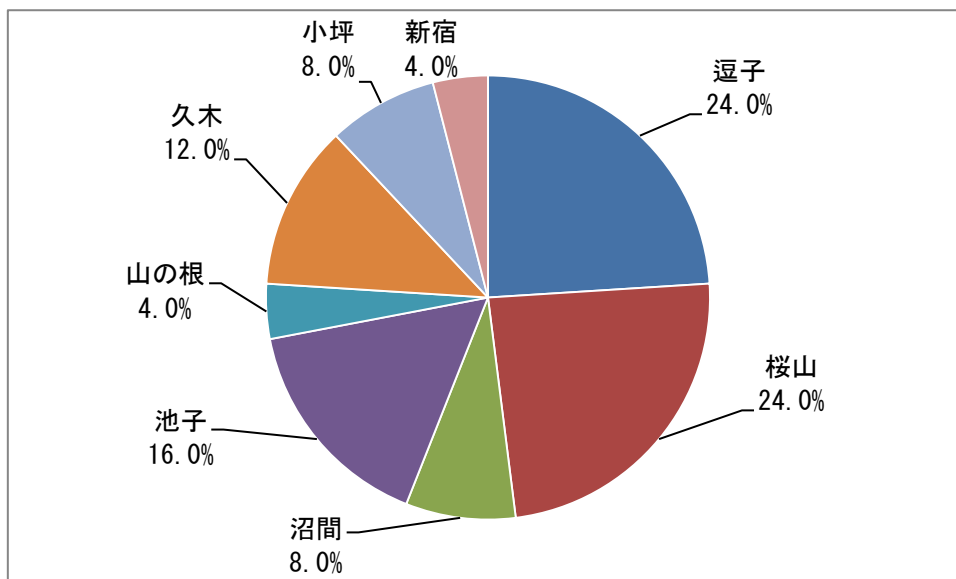


第13回 逗子の未来協議会 アンケート結果

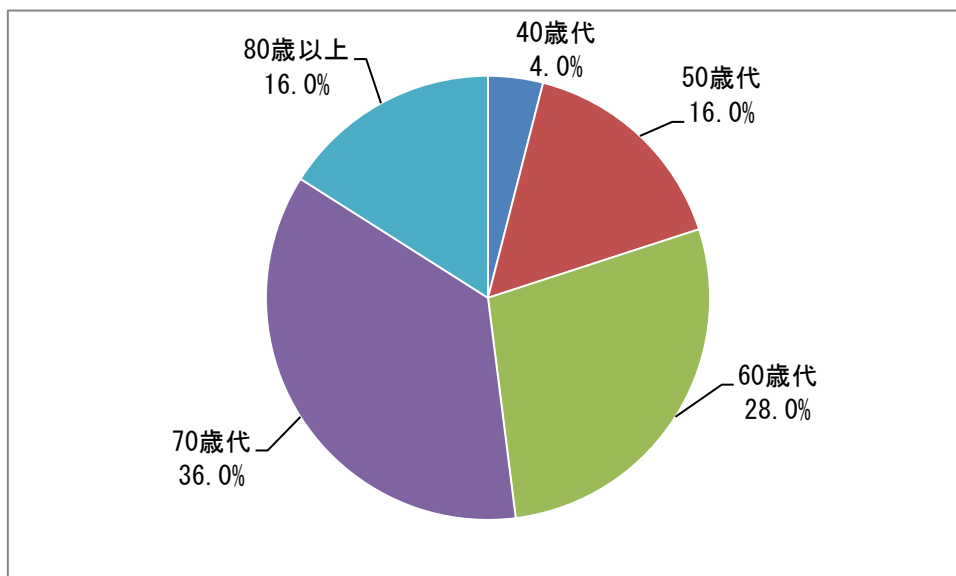
実施日：平成29年12月10日（日）

回収数：25（回収率100%）

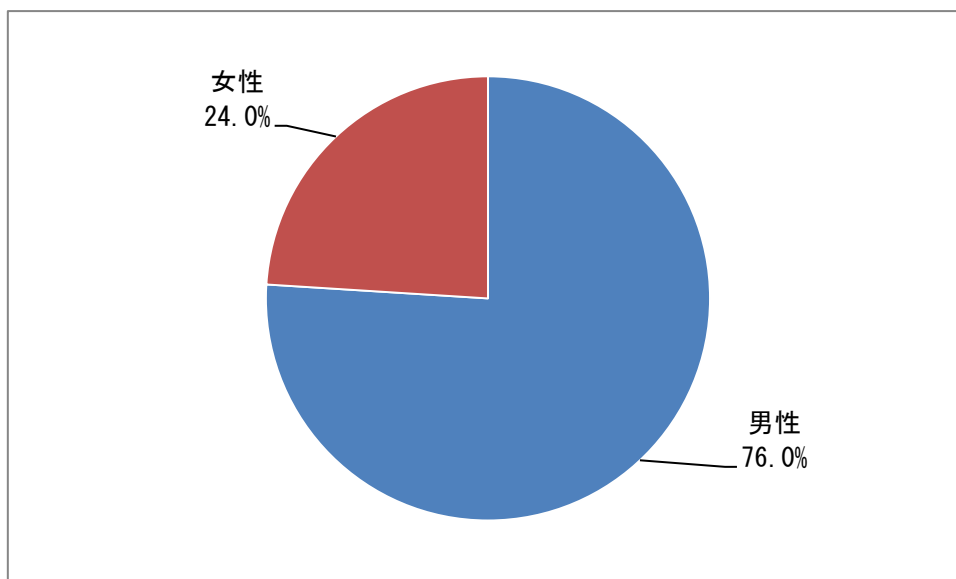
1 第13回参加者の居住地域



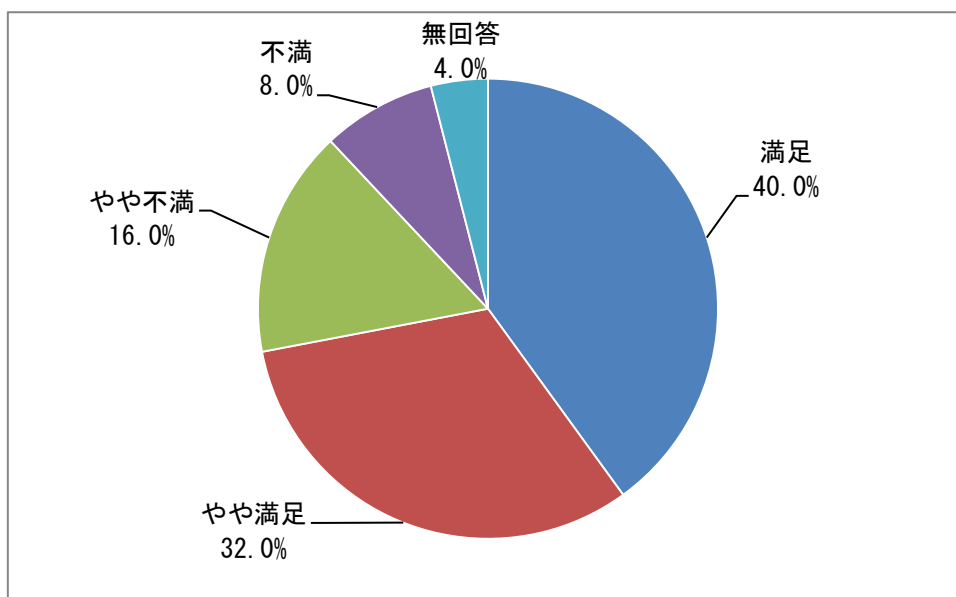
2 第13回参加者の年代



3 第13回参加者の性別



4 第13回の感想



【「1. 満足」を選択した理由】

- ◆ 松下先生の話が良かったです。
- ◆ 条例の実効性を高めるためには、周知することが必要。それをいかに具体化するかが議論され参考になった。
- ◆ グループワークで活発に議論が行われた。議論には皆、平等に参加できた。
- ◆ 問題点のポイントが整理されて出てきたと思う。
- ◆ 他の方たちの意見を聞くことができた。

- ◆ 自治基本条例の本質を松下先生との会話の中で理解できた。
- ◆ 各グループの討議発表の後に、松下講師の一言が理解を深めることになりました。基本条例の概要の理解が深まりました。松下講師の講義が面白かったです。
- ◆ 先生の話は興味深かったです。
- ◆ 条例をつくる具体性を考えるようになってきた。

【「2. やや満足」を選択した理由】

- ◆ まだまだ考えなければならない多くのことを知りました。一市民として何ができるのか。例えば、お互い様逗子、ご近所への接し方、知識がなければ戸惑う、に対し生活介護サポーター、認知症サポーターなどの養成講座が開かれています。地域安心生活サポート、見守りサポーターなどもあります（ただ、周知が不足ぎみ？）
- ◆ 条例の意義について松下先生からのお話で理解できそうになった。
- ◆ 講演が事例紹介を含め分かり易く、とても参考になりました。成功体験って希望が持てる。
- ◆ 自作のレジメを作成し、参加している方がいてその情熱に感心しました。
- ◆ 今日のテーマの影響と思いますが、各テーブルの意見が同じ考えのように感じた。
- ◆ グループごとにテーマに沿って話し合い、意見を発表するというこのシステムは少しマンネリになったように思いますが、今回は先生のご意見をその都度聞けて良かったです。
- ◆ 関心のある事例(市民まつり、スポーツ施設の利用)で話し合うことができた。ただ、全体について話が進まなかった。
- ◆ 暖房効いていないよう、2時間寒い。

【「3. やや不満」を選択した理由】

- ◆ テーマが多岐にわたり、取りまとめが大変であった。
- ◆ 意見が個人的固定化し始めている。
- ◆ 条例たたき台の姿も見えない中での「実効性」を高めるという抽象的なテーマでの議論や意見は難しい。

【「4. 不満」を選択した理由】

- ◆ 先生は具体的に何かをすればいいというが、ワークショップでは案しか出すことができず悩ましいところ。
- ◆ 「条例の実効性を高める」の定義が明確でない。作成する条例の条文の実効性を高めるのか、でき上った条例の実効性を高めるため見直しなどの規定を設けるのか。添付別紙参照。

【「無回答」の理由】

- ◆ テーマが非常に抽象的で議論できる状態でない